

ご存知ですか 増尾の土村道路元標

お気づきでしょうか。増尾ふるさと会館の入り口脇にある小さな石碑に。高さ60 cm、縦横25 cm の碑の正面には「土村道路元標」、向かって左側の側面には「大正十一年十月建設」と刻まれています。もともと旧土村役場跡地内にあったもので、そこに増尾ふるさと会館を建設するにあたり撤去され、別の地で保管されていましたが、先年の会館補修完了を機に戻されました。

道路元標とは、道路の基点や終点を表示する標識で、大正8年に公布された道路法には、「道路元標は各市、町、村に一箇所置く」とあり、市町村に1か所の設置が義務付けられました。大正11年に形状や規格、材料等を規定した内務省令が公布されると各地で建設が始まり、多くは市町村役場に設置されました。ところが本来一つであるべき道路元標が、増尾にはもう一つあるのです。土小学校正門前をグランド沿いに右に進んだ三叉路の角の大きなケヤキの根方に、増尾ふるさと会館にあるのと同じ大きさの碑が残っています。正面に書かれた「土村道路元標」の文字がかすかに読み取れます。

なぜ1村に二つも。それには明治、大正期に土村役場が転々としたことに関係があるのではないのでしょうか。明治22年4月、町村合併により誕生した土村は、役場を少林寺内に置きました。ところが翌23年12月には萬福寺本堂内に移転。さらに大正3年1月に増尾尋常高等小学校（現土小学校）内へと移ります。そして大正12年12月増尾字幸谷1467-2（現在の増尾ふるさと会館所在地）に役場を建設し、移転しました。

大正9年1月の千葉県訓令では、土村増尾幸谷1437番地先に道路元標を設けるとあります。これによっても、大正11年当時、役場のあった土小学校付近に最初の道路元標が建設されたことは間違いのないでしょう。

大正12年、新築された庁舎に役場が移転する際に、この道路元標も移し、もとの場所には複製を製作して置いたのか。あるいは最初の元標はそのままに、新しい庁舎には新しいものを造ったのか。どちらかと思われませんが、どなたかご存じの方は教えてください。

二つの道路元標 土小前三叉路(左)と増尾ふるさと会館前(右)

増尾町会
市岡 實

脳を使いながら歩く 健康講座

平成29年3月7日、増尾近隣センターで柏市民健康づくり推進員主催「健康講座」を開催しました。講師に柏市保健所保健師の西山照美さんを迎え、健康に関心のある参加者32名が話を聞きました。

「高齢者が介護や支援が必要になる原因は、5人に1人が骨折、転倒、関節疾患である。そうなることを防ぐために日常の中で現状の筋力を維持できるように無理のない運動の積み重ねが必要であり、また、認知症予防のためにも運動習慣は大切である。運動は、脳の神経を成長させる。さらに脳を使いながら運動をすることで一層効果が期待できる」とのことでした。

毎日、片足立ちなど無理なくできる運動や頭で考えながらできる運動を教えてくださいました。

ウォーキングのときに、計算やしりとりなどで頭も使いましょう。そして今より10分長く歩くことを心掛けましょう。
総務広報部 嶋田 由紀江

柏市明るい選挙推進協議会

柏市選挙管理委員会では「違反のない選挙」「投票促進」「選挙に関心を高める」ことを目的に、明るい選挙推進協議会を設置しています。同協議会は柏市の各ふるさと協議会から推挙された委員で構成。増尾ふる協からは柴田桂子さん、山口富美恵さんが参加して活動しています。

ふる協からのお知らせ

平成29年度総会を下記のとおりで開催します。なお、出席者には追って詳細をお届けします。

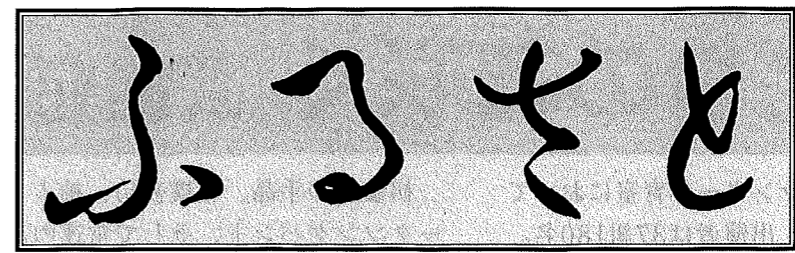
日時 平成29年5月14日(日) 午後1時30分より
場所 増尾近隣センター体育室

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 吉川(TEL 7176-3631)まで、お問い合わせください。

We Love Kashiwa



吉田 稔 筆

みんな元気 住んで良かった この地域

平成29年4月 No.121

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211
http://masuo80@live.jp

ペットと共生できる街づくり

地区懇談会

平成29年2月5日、町・自治会役員に参加していただき、増尾近隣センターにて地区社協部主催「地区懇談会」を開催しました。

癒されるペットとしてネコを飼う人が増えていますが、高齢になり世話が難しくなるケースが多くなっています。地域での人のつながりが希薄になっていく中で、飼い主のいないネコが多くなっているのが現状です。ネコの好きな人と嫌いな人の間のトラブルを耳にすることもあり、地域の間関係や環境問題として、今回の課題に取り上げました。

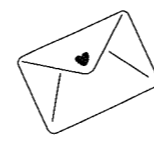
柏市保健所動物愛護ふれあいセンターの落合志織獣医師を講師に迎え、地域の環境問題にかかわる「地域猫活

動」について聞きました。のらネコが引き起こすトラブルの対応策なども聞くことができ、興味深い内容でした。

続けて「人とペットの調和の取れた共生できる街づくり」と題し、グループで話し合いをしました。その中で、センターの活動内容の周知が必要であることが分かりました。

何か問題が起きた時には、動物愛護ふれあいセンターにご相談ください。
地区社協部 大島 金蔵

柏市動物愛護ふれあいセンター
04-7190-2828



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

加賀町会

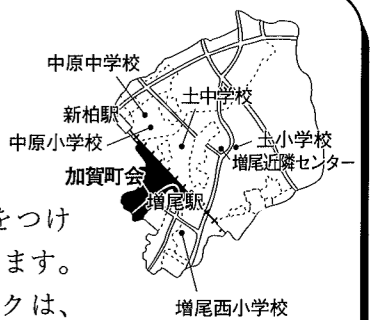
当町会の「加賀自主防災会」と「加賀たすけあいネットワーク」を紹介します。

自主防災会は46名の会員で構成され、年間活動の中で防災知識や応急手当など実践的な訓練を続けています。会員の中にはセイフティリーダー有資格者34名の災害救援ボランティアがいます。将来的には、各班に1名以上、町会全体に50名以上の配置を目指しています。また、16名の会員で行っている「青色防犯パトロール」は、柏市防災安全課や柏警察の指導を受け、毎週金曜日に実施。下校時間帯に地域内

の通学路を、青い点滅灯をつけた車でパトロールをしています。

たすけあいネットワークは、増尾西小学校
高齢者の依頼があった時にゴミ出しや草取りなど、ボランティアのできる手助けをしています。10年にわたる地道な活動が認められ、昨年12月10日、柏市文化会館で開催された「第43回柏市民福祉大会」において、地域福祉への貢献を評価され表彰されました。会員の活動の成果と喜んでおります。

会長 四方 元一



色とりどりの花咲く 芸能発表大会

平成29年3月5日、増尾近隣センター体育室において「芸能発表大会」を開催しました。出演者は37組180名。今年は、新しい顔ぶれが多く、バラエティーに富んだプログラムとなりました。

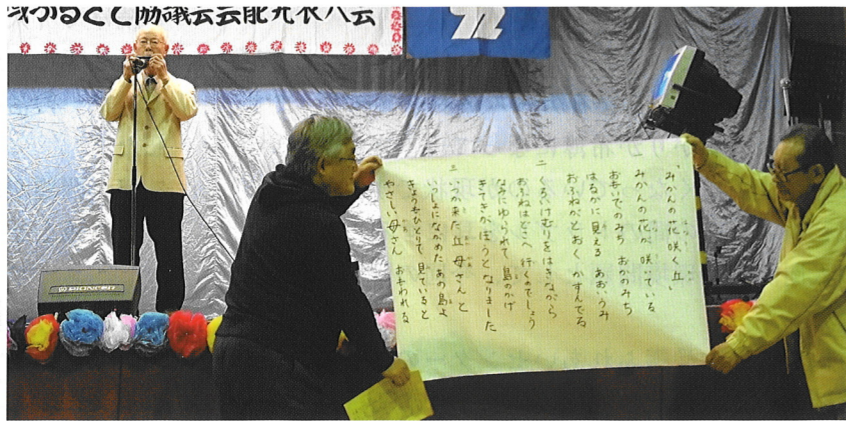
初参加の作品、相撲甚句、柏よさこい踊り子隊、フォークソングバンド、そして常連の出演者も日頃の成果を發揮。場内は、出演者を応援する掛け声やアンコールの声で盛り上がりました。 文化体育部 小林 みつえ



子どもたちの気合の入った踊りに元氣をもらいました(柏よさこい踊り子隊)



白紙だった本に絵が！見事な手品でした(ほのぼの手品)



ハーモニカの演奏に合わせて、会場に歌声が響きます(三橋守さん)

柏南高校生が参戦 新春囲碁将棋大会

平成29年1月29日、増尾近隣センターにて文化体育部主催「新春囲碁将棋大会」を開催しました。

囲碁は初心者2名を含む24名での対戦となりました。将棋は14名が参加。小学生4名が指導を受けて対戦しました。今年は県立柏南高等学校将棋部の2名が初参加。小中高生の参加がますます増えることを期待しています。表彰者は下記の方々です。

- <将棋の部>
- 優勝 村松拓海 (高校2年) 2位 岩瀬恵一郎
- 3位 村田共由

- <囲碁Aの部>
 - 優勝 石河是孝 2位 野崎治郎 3位 原田博美
 - <囲碁Bの部>
 - 優勝 加藤 保 2位 蔦野俊之 3位 丸野憲子
- 文化体育部 小林 みつえ



柏南高校生は部活で鍛えた腕前で戦います

つくってあそぼ Part4

平成28年12月4日、恒例となった地区社協部主催「つくってあそぼ」を開催しました。今まで増尾近隣センター体育室で行っていましたが、改修工事のため土中学校体育館に変更になりました。インフルエンザの流行で欠席者が多く、小学生55名の参加でした。

今回は、万華鏡とサンドイッチ作りに挑戦。万華鏡は、思い思いの色の千代紙を使って作りました。できたあと、友達とのぞきあったりして色鮮やかな幻想の世界を楽しみました。

サンドイッチは、ロールパンの上に食パンを型で抜いて作ったキティちゃんの顔をはり付けたり、チーズやのりをはってジバニヤンの顔を描いたりしました。1年生



万華鏡作りに夢中です

には少し難しかったようですが、高学年の手助けなど微笑ましい光景が見られました。サンドイッチはスタッフが作ったクリームシチューと一緒においしく食べました。食事のあとには、みんなで歌ったりゲームをしたり、いつもより広い体育館を走り回りました。

地区社協部

田嶋 典子

ポリ袋で真空調理 地区社協部

平成29年2月18日、増尾近隣センター調理室にて「男の料理教室」を開催しました。いつも料理をしている人、エプロンをつけるのも初めてという人、15名が参加しました。

ポリ袋に材料を入れて、ゆでるだけ！ 目新しい調理法に皆さん興味津々。災害時にも役立つ真空調理法で、ヘルシーメニューを作りました。ごはん、肉じゃが、春雨スープ、キャベツのあえ物が完成。仕上がりは完ぺきとはいきませんが、味は上々。

地区社協部 江口 美佐子

レンズでのぞいた増尾の自然

篠崎 将

ミヨウガの花

この花をはじめて見る人は、一見「ラン」の一種かと思うほど美しい花である。千年以上昔の文献に出てくるといほど、日本人にはなじみ深い花である。いろいろな料理に添えた刻みミヨウガが、どれほど料理を引き立てることだろう。ミヨウガは、花が咲かないうちに摘み取られて食用に供されるので、花を見たことのない人が多い。また、庭の片隅の日の当たらないところに植えられているので、花が咲いても人に見られないことが多い。美しいこの花の命は1日しかない。

ミヨウガをたくさん食べると、物忘れがひどくなるという言い伝えがある。成分を調べた結果では、そのようなことはなく俗説らしい。よく観察しないですがつつ食べることへの戒めではないか、と思われるほど美しい花である。



ミヨウガの花

関心高まる年末パトロール 防犯防災部

平成28年12月25日午後6時より、柏市防犯協会増尾支部と増尾ふる協の共催により、年末夜間パトロールを実施しました。町・自治会、柏市防犯協会、柏市防災安全課、増尾駅前交番、新柏交番、防犯ボックスから総勢169名が参加しました。

3ブロック(増尾駅、近隣センター、新柏駅を拠点)8ルートで増尾地域全域を巡回するパトロールとなって今回で3年目。複数の町・自治会でグループを構成しているため、近隣の様子も知ることができ、住民間の連携が深まりました。参加者は平成26年度から36.3%増、平成27年度からは10.5%増となりました。

防犯防災部 志水 房夫